

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	消防施設維持管理費				
担 当 課 係 名	環境防災課 課		交通防災 係	作成者	石川一幸
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画の ページ
	基本計画	消防体制の充実と消防団の育成強化			
	主要施策	消防防災設備の整備			86
予 算 費 目	一般 会計	9 款 消防費	1 項 消防費	3 目 消防施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	消防法				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民に対し安全安心な暮らしが出来るまちを創る
事業の目的・意図 （どういう状態に したいのか）	消防防災設備の整備を図ることにより体制が強化される
事業の内容 （どのような業務、 活動を行うのか）	消防防災設備の整備を図ることにより体制が強化される維持管理

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
	活動指標	修理修繕箇所		箇所	42	50	41
効果	成果指標			箇所	42	50	41
				達成度	100.0%	100.0%	100.0%
				目標	100.0	100.0	100.0
				実績	95.0	95.0	95.0
				達成度	95.0%	95.0%	95.0%
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)
	事業費（人件費を除く）(A)				7,937	13,381	8,147
	人 件 費 (B)		—		3,141	3,228	3,170
		職 員 数	—		0.40	0.40	0.40
		職 員 平 均 人 件 費	—		7,853	8,071	7,925
		(A) + (B) 投下コスト			11,078	16,609	11,317
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源			11,078	16,609	11,317
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		263,762	332,180	276,024
	市民1人当たりのコスト(円)		—		347	528	365

【事務事業の今までの成果】

老朽化している施設などの更新や維持管理を十分に行うことにより体制の整備強化が図られている

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	他自治体においても更新や修理修繕で対応している
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	施設の維持管理について、市民からの要望については即対応しているので問題ない

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	市直接管理で何ら問題ない
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	消防施設は地域住民の生命及び財産を守る上で不可欠のものであり、計画的な更新と維持管理による災害対応力の確保・強化に継続して努める必要があります。

一次評価診断図

